正義の弁護士、立つ

大河原としたか

39歳　参院選京都（改選数2）

おおかわら・ゆき＝1976年山形県川西町生まれ。京都大学法学部卒。京都弁護士会副会長など歴任。現在、自由法曹団常任幹事

比例は日本共産党へ

〈立候補表明から1年余りたちました。いま、戦争法廃止や国政への選挙協力を確認したら野党首の合意に大きな反響がひろがっています。

ママの会@京都との懇談では「憲法を守る」と正面からいってくれる議員を国会に」という熱い願いをひしひしと感じました。

私が1回目からほぼ毎回参加している「御所南ビスウォーク」が2月で100回になりました。参加者に戦争法廃止法案を野党共同で提出したことを報告すると、「ご苦さん本当に喜んでくれました。

改選数2の京都選挙区では、私が当選することが、戦争法廃止と憲法を守る力、人のいのちを守る政治へ転換する力になることを訴えていきたいです。

〈立候補の抱負は〉

弁護士として13年間、派遣切りや過労死、建設アスベストなど、さまざまな被害を受けた方の救済や権利回復の活動をしてきました。

非正規労働で先が見通せず、結婚も子育てもままならない若者、ようやく正社員になっても長時間労働に苦しむ労働者、普通に働き、普通に暮らす、こんな当たり前のことができなくなっている今の社会は本当におかしい。

根底には、人のいのちや暮らしより大企業の利益を最優先する政治があります。裁判のたたかいも重要ですが、根本的な解決には、政治の大本を変えないといけないと考えました。

〈建設アスベスト（石綿）訴訟の弁護団の一員です〉

京都地裁は1月、国の責任に加え、全国で初めてアスベスト建材メーカーの責任を認め、画期的な判決を出しました。被害者救済法をつくりたいです。

〈安倍政権は国会改悪に執念を燃やしています〉

政権・与党の中心に「憲法を守る」という原点にたって道理を通すことこそが大切です。

弁護士出身議員がいま感じました。国会で正義を貫く京都の議席がどうしても必要です。

戦争法廃止、憲法守れ、「野党は共闘」の声を上げる市民の皆さんの代表として全力を挙げ、勝ち抜く決意です。

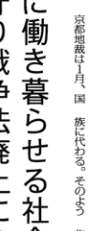
聡平議員でした。法は一人ひとりの尊厳を守るためにある」という原点にすべての法律を貫き、国会で正義を貫く京都の議席がどうしても必要です。

戦争法廃止、憲法守れ、「野党は共闘」の声を上げる市民の皆さんの代表として全力を挙げ、勝ち抜く決意です。

家としても加っておけません。

安倍政権が秘密保護法を強行した際、参院で唯一「反対討論」に立ったのが共産党の仁比聡平議員でした。法は「一人ひとりの尊厳を守るためにある」という原点にすべての法律を貫き、国会で正義を貫く京都の議席がどうしても必要です。

普通に働き暮らせる社会に
憲法守り戦争法廃止に全力



安保関連法に反対する
ママの会@京都のメンバー
西郷　南海子さん

人の命にしっかり向き合う人

2月にママの会@京都で懇談したとき、建設アスベスト訴訟で、裁判が進むにつれ原告の方がご亡くなり、遺族にわたっていくと無念さをこめていた姿が印象的です。人が生きること、死ぬことにしっかり向き合い、一人ひとりを大切にしてくれる人だと感じました。その姿勢は、ママの会の「だれの子どももころさせない」の思いと通じます。

安保法制の「国会審議つぶし」、「給油」や「駆けつけ警護」などが議論されましたが、現場でそれをやるのは「体験者」の自衛隊員や営業員には、自衛隊員一人ひとりの顔は見えていないのです。

大河原さんのように「憲法を守る」と正面から言う議員を一人でも増やし、人間の顔をしていない今の政治を変えたいです。

選挙区メモ

京都選挙区は改選数2で、現有は自民、民進。現職2人は何内全域に、いち早くポスターを張り出し競い合っています。「改憲勢力入り」を明言している、おおさか維新も候補を擁立する見込みで激戦は必至です。

京都の共産党は2014年総選挙の比例で自民党に次ぐ第2党。地方議員数では自民より多い断トツ1位です。党と後援会は「比例30万票、第1党」の目標をすえて、13年の倉林明子議員に続く議席を必ず獲得しようと、宣伝、対話、支持拡大の飛躍に奮闘しています。